

【2022 特定課題研究発表 募集要項】

1. 趣旨

全国大会における研究発表時の議論活性化を図ると同時に、論文の質的向上を目指して2018年の全国大会より「特定課題研究発表論文」制度を開始しております。本制度では、毎年特定課題を数題設定し、特定の課題に対する多方面からの集中的かつ活発な議論がなされるセッション運営を開催します。それと同時に投稿された論文には、「講評」を実施し、発表論文の質の向上も図っていきます。過去の投稿者の方々からは、発表前の「講評」や発表当日の「質疑応答」により、会場の皆さんを含めて議論や研究そのものを深化させることができたと好評を得ております。

会員の皆さんにおかれましては、どうぞ奮って投稿をお願いいたします。

2. 2022 年の特定課題

課題1：まちづくりと当事者参加

課題2：まちづくりと建築

課題3：まちづくりと交通

課題4：まちづくりと支援技術

3. 「講評」について

投稿された論文に対し、事前に講評者1名（公開）が投稿者に対して「講評」を行います。「講評」の内容は、論文委員会において導入している査読項目をベースに行い、研究内容に加えて、投稿論文としての体裁などについても言及します。「講評」はあくまでも論文の質の向上を目的とし、査読付き論文へつなげるためのアドバイスを行うもので、投稿論文は「査読付き論文」としては位置付けられません。改めて論文集へ投稿される際の参考にしてください。

「講評」の結果は、大会発表前に投稿者およびセッションのファシリテーターに返信します。また情報保障の観点から原稿は修正せず、発表当日は投稿時の原稿が会員に公開された状況となります。

「講評」の内容は発表冒頭に簡潔に説明してください。また主たる発表内容は、「講評」に対する回答や修正を含めていただいて結構です。講評者・ファシリテーターを含め、会場での議論の活性化・深化につなげていただくことを期待します。

4. セッションの運営方法について

- 各特定課題にもとづくセッションは、講評者、ファシリテーター（セッションの進行および会場での議論喚起）、発表者によって運営されます。
- 大会時のセッションは、当初提示した特定課題1～4への応募論文の内容を勘案し、必要な場合には再編成を行います。
- 1セッションにおける発表者の上限は3名程度とし、上限1時間半程度のセッション運営とし

ます。

- ・発表者のプレゼンテーション（講評の紹介を含む）は10分程度、その後の質疑応答は10分とし、別途セッション終了時に全体を総括した質疑時間を15～20分程度設けます。また、上記の通り、発表者は自身の研究発表の後、講評者からの「講評」に対しても見解を述べることができます。

5. 原稿枚数および発表時間

- ・概要原稿：6ページ
- ・発表時間：10分程度
- ・質疑応答：10分

6. スケジュール

- ・登録期間：2022年4月21日（木）～5月25日（水）
- ・概要集原稿投稿期間：2022年4月21日（木）～6月29日（水）
- ・講評結果の返信：個別にご連絡します。

【問い合わせ先】

日本福祉のまちづくり学会大会ヘルプデスク

E-mail: jais-desk@bunken.co.jp